

▼メチレンブルー静注 [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】メチルチオニウム塩化物水和物 methylthioninium chloride hydrate 【分類】解毒剤 [メトヘモグロビン血症治療剤]

【単位】▼50mg/A [10mL]

【常用量】■生後3ヵ月を過ぎた乳幼児, 小児, 成人: 1回1~2mg/kgを5分以上かけて静注。投与1時間以内に症状が改善しない場合は, 必要に応じ, 同量を繰り返し投与 [累積投与量は最大7mg/kg] ■新生児及び生後3ヵ月以下の乳児: 1回0.3~0.5mg/kgを5分以上かけて静注。投与1時間以内に症状が改善しない場合は, 必要に応じ, 同量を繰り返し投与できる

【用法】5分以上かけて静注 [1Aに対し5%ブドウ糖注射液50mLで希釈]

【透析患者への投与方法】低用量から開始 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】低用量から開始 (1)

【特徴】中毒性メトヘモグロビン血症治療剤。赤血球においてNADPH-フラビン還元酵素が活性化され, メチレンブルーは還元されてロイコメチレンブルーになる。ロイコメチレンブルーは非酵素的にメトヘモグロビンを還元してヘモグロビンに復す。

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, メトヘモグロビン血症の増悪 [過剰投与で発現], 溶血性貧血, 錯乱, めまい, 頭痛, 皮膚症状, 呼吸困難, 胸痛, 排尿障害, 注射部位異常など

【代謝】資料なし (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率28.6% [iv, 24hrまで] (1)

【CL】19.5L/hr [iv] (1)

【t1/2】17.5hr (1)

【蛋白結合率】94% (1)

【Vd】467L/man (1)

【MW】319.85 (無水物)

【透析性】資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【相互作用】CYP1A2, 2B6, 2C9, 2C19, セロトニントランスポーターを阻害する (1) セロトニン作動薬: セロトニン症候群発現のおそれ (1)

【更新日】20171219

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。